

来週の金融市場見通し



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL: [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

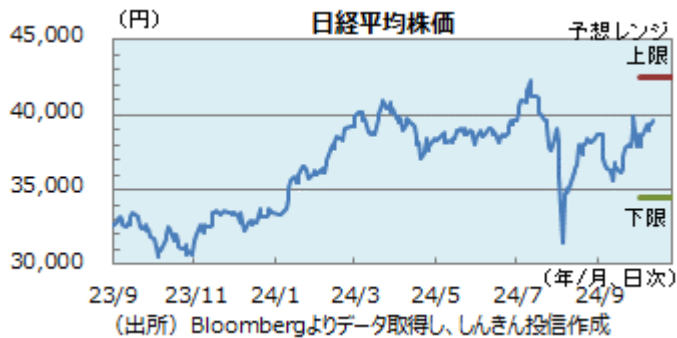
< 10/14 ~ 10/18 >

9月の米雇用統計が労働市場の堅固さを映したことで米景気のソフトランディング(軟着陸)期待が高まり、米連邦準備理事会(FRB)による大幅利下げ観測が後退しています。9月の米消費者物価指数(CPI)は上振れましたが、利下げ継続、かつ景気後退局面回避との見方は変わらなかった模様です。他方、日銀の氷見野副総裁は金融政策の正常化に向かっているとの姿勢を示しました。来週は、全国消費者物価指数(CPI)に加え、米大手金融機関の決算なども確認しながら、方向感を探ることになりそうです。

◆株価：半導体企業の決算に注目

【予想レンジ】日経平均株価

(来週) 38,500~41,000円 (10月) 34,500~42,500円



来週は、半導体大手のASMLやTSMCの7-9月期決算発表が注目されます。これらに加えて、米大手金融機関の決算発表も予定されており、決算内容を受けて、株価が変動することが予想されます。海外投資家は、東証プライム市場において、先週、7週間ぶりに買い越しとなりました。事業法人による資金流入も継続しており、良好な需給は株価を支えるとみられます。ただ、内外の金利が一段と上昇すると、株価の上値を抑える可能性があります。

◆為替：底堅い地合いの中、方向感乏しい

【予想レンジ】ドル円レート

(来週) 146.5~150.0円 (10月) 137.0~150.0円

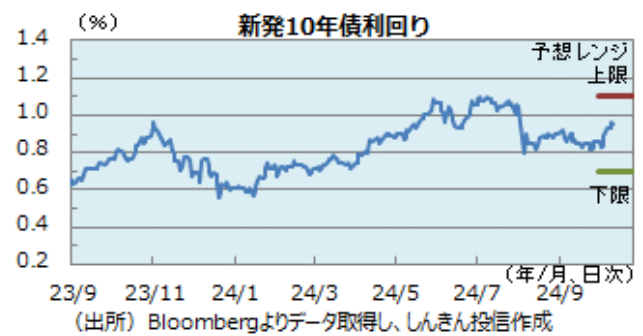


ドル円は、米長期金利が4.0%台に乗せていることに加え、日銀の年内の追加利上げ観測が後退していることから、底堅い展開が見込まれます。とはいえ、9月の米CPIが市場予想比で上振れたものの、年内あと2回の米利下げ観測に大きな変化はなく、米長期金利の上昇余地は限定的とみられます。それを受け、ドル円の上値余地も限定的となりそうです。来週は、9月の米小売売上高の結果をにらみながら、方向感の乏しい展開が想定されます。

◆長期金利：一段の上昇は限定的か

【予想レンジ】長期金利(新発10年債利回り)

(来週) 0.85~1.00% (10月) 0.70~1.10%

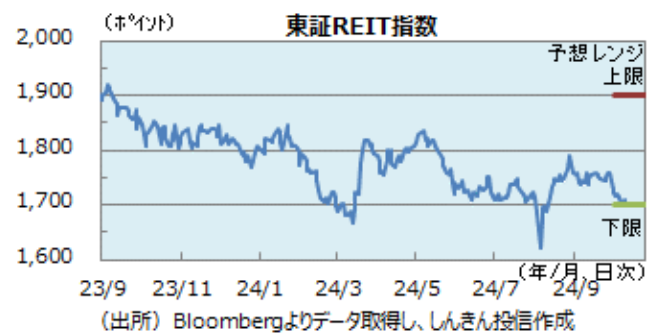


FRBによる大幅利下げ観測が後退し、米長期金利が上昇していることに加え、日銀の氷見野副総裁がやや(金融引締めに向き)タカ派的な姿勢を示したことなどから、国内の長期金利も上昇する動きになりました。もっとも、日銀の追加利上げペースは緩やかになると見込まれること、また米長期金利もFRBの緩やかな利下げペースを織り込んできていることから、国内金利の一段の上昇は限定的とみられます。

◆Jリート：上値は重いか

【予想レンジ】東証REIT指数

(来週) 1,700~1,750ポイント (10月) 1,700~1,900ポイント



来週のJリート市場は、上値の重い展開が想定されます。石破首相が早期利上げに慎重な姿勢を示している一方、日銀副総裁からは追加利上げに向き姿勢が示されたほか、米国の大幅利下げ観測が後退し、日米長期金利が上昇していることがJリートの上値を抑えそうです。ただし、東証リート指数(配当なし)1,700ポイント付近では、下値を拾う買い需要も見込まれることから、そこで踏みとどまれるか注目したいところです。

■来週的主要な内外スケジュール

	国内	海外
10/14 月	◎東京市場休場（スポーツの日）	◎米休日（コロンバス・デー） 中国貿易収支（9月）
10/15 火	鉱工業生産指数・稼働率指数（8月、確報値）	米NY連銀製造業景況指数（10月） ユーロ圏鉱工業生産指数（8月） 独ZEW景況感指数（10月）
10/16 水	機械受注（8月）	蘭ASML7-9月期決算発表 米輸入物価指数（9月）
10/17 木	貿易統計（9月） 第3次産業活動指数（8月）	台湾TSMC7-9月期決算発表 米NAHB住宅市場指数（10月） 米フィラデルフィア連銀製造業景況指数（10月） 米鉱工業生産・設備稼働率（9月） 米小売売上高（9月） 米企業在庫（8月） 欧州中央銀行（ECB）理事会 ユーロ圏貿易収支（8月） ユーロ圏消費者物価指数（9月、確報値）
10/18 金	全国・消費者物価指数（9月）	米住宅着工・許可件数（9月） 中国GDP統計（24/7-9月期） 中国小売売上高、工業生産、固定資産投資（9月） 中国新築住宅価格（9月）

（注）スケジュールの内容、日程が変更になる可能性があります。

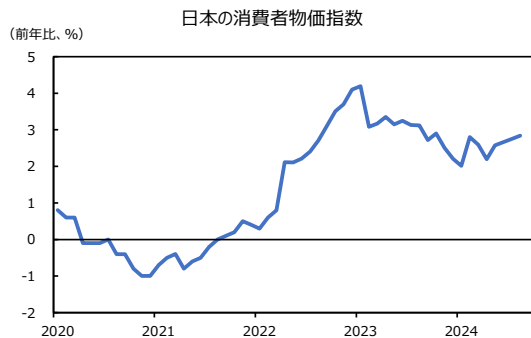
（出所）各種報道を基に、しんきん投信作成

■来週の注目点

全国・消費者物価指数(9月) 10月18日(金) 発表

8月の全国・コア消費者物価指数（コアCPI、生鮮食品を除く総合）は前年比2.8%上昇と、前月（同2.7%）から伸びが加速しました。エネルギー価格の高めの伸びが続いたほか、需給がひっ迫した米類を中心に食料品価格の伸びが拡大しました。

9月のコアCPIは伸びが縮小することが予想されます。一時的に終了していた政府による電気・ガス代の補助が9月（8月使用分）から再開されることで、エネルギー価格が押し下げられる見込みです。

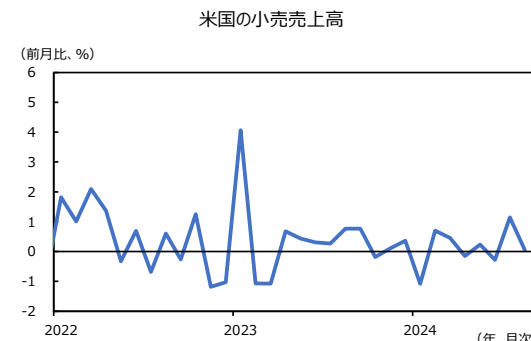


（注）コアCPI（生鮮食品を除く総合）。期間は2020年1月～2024年8月。
（出所）総務省よりデータを取得し、しんきん投信作成

米小売売上高(9月) 10月17日(木) 発表

8月の米小売売上高は、前月比0.1%と小幅に増加しました。市場予想を上回り、財消費の底堅さが確認されました。

9月の米小売売上高は、前月比+0.3%と緩やかな増加が続くと見込まれます。高金利を背景とする借り入れコストの高止まりが個人消費の逆風となっていますが、労働市場の減速ペースが緩やかであるため、大幅な落ち込みは避けられるとみられます。



（注）期間は2022年1月～2024年8月。
（出所）米商務省、Bloombergよりデータを取得し、しんきん投信作成

<本資料に関してご留意していただきたい事項>

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】**■投資信託に係るリスクについて**

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。